

令和5年度当初予算、令和4年度2月補正予算が成立



杉本 達治 知事

2月定例県議会において、令和5年度当初予算（4,861億円）、令和4年度2月補正予算が成立しました。4月に知事および県議会議員の選挙が行われるため、今回の当初予算は「骨格予算」となりますが、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた「プロモーション」や「機運醸成・おもてなし」、「開業イベント」などは当初予算に計上し、年度当初から準備を進めていきます。また、物価高騰対策についても、機を逸することなく必要な予算を計上しました。

北陸新幹線福井・敦賀開業対策

福井ブームの創出

首都圏での連続的なプロモーション

- ・北陸新幹線の起点となる東京駅や丸の内周辺を中心に開業カウントダウンキャンペーンを実施
- ・北陸新幹線主要駅や福井ゆかりの地でPRや出向宣伝を実施

北陸デスティネーションキャンペーン

- ・令和6年秋のキャンペーンに向け、旅行会社向けの「全国宣伝販売促進会議」を県内で開催し、JR各社と北陸三県の観光事業者、行政が一体となって北陸の魅力のPR

アンテナショップの機能強化

- ・リニューアルした銀座および南青山の店舗において、県産品の販路拡大や県内企業の首都圏でのビジネス支援機能を強化

関西圏での観光・物産PR

- ・令和6年7月に開業予定のJR大阪駅隣接の大型複合施設に、北陸三県連携による情報発信拠点を設置

地域の新交通システムの構築

㈱ハピラインふくい施設等整備を支援

- ・福井・敦賀開業に伴いJRから経営分離される区間の鉄道資産取得や鉄道運行に必要な設備整備等を支援

地域公共交通のキャッシュレス化を推進

- ・路線バスに続き、新たに鉄道事業者（福井鉄道㈱・えちぜん鉄道㈱）に対し、交通系ICカードの導入を支援

- （路線バス：令和4～5年度に整備）
- （地域鉄道：令和5～6年度に整備）

北陸新幹線の早期全線開業

大阪までの早期全線開業をPR

- ・関西の機運醸成のため、福井・敦賀開業と合わせて大阪までの早期全線開業をPR

- （関西での情報発信イベントの開催や駅広告の掲出）
- （開業PR年賀はがきの作成・販売）



北陸新幹線福井・敦賀開業
カウントダウンキャンペーン



交通系ICカードの利用（イメージ）



情報発信イベント（イメージ）

観光客の心をつかむ魅力づくり

恐竜博物館リニューアルオープン

- ・令和5年夏の恐竜博物館リニューアルオープンを県内外にPRし、本県へのさらなる誘客拡大を促進

- （東京、大阪、名古屋でのカウントダウンイベントを開催）
- （リニューアル初日にオープニングセレモニーを開催）
- （恐竜ライブショーを開催 など）

恐竜エリアを拡大

- ・「恐竜といえば福井」と感じられるエリアを整備するため、県内に様々な恐竜コンテンツを配置
- ・来県者に「恐竜王国福井」をPRするとともに、恐竜を活用したにぎわいを創出

- （福井駅西口周辺エリアの恐竜コンテンツ整備）
- （市町による恐竜コンテンツ整備の支援）

観光客を「おもてなし」する景観整備

- ・来県する観光客が新幹線各駅から県内主要観光地に向かう道路の舗装や案内サインの設置、駅周辺の河川環境等を集中的に整備

すべての人が満足できる観光環境づくり

多様な宿泊施設の整備を支援

- ・来県者の目的となるような多様かつ魅力的な宿泊施設の整備を進め、福井県内へのさらなる誘客や滞在時間の延長、観光消費額を拡大（サイクリストに優しい宿、ペットと泊まれる宿 など）

スポーツによるまちづくり・交流人口拡大

ふくい桜マラソン

- ・「第1回ふくい桜マラソン」の開催に向け、競技運営・警備等の準備や広報活動を推進（開催日：令和6年3月31日（日） 定員：15,000人）
- ・ふくい桜マラソンEXPO、おもてなしイベント等を開催



リニューアル後の恐竜博物館（イメージ）



恐竜ロボット整備（イメージ）



ペットと泊まれる宿（イメージ）

物価高騰対策

中小企業に対する緊急支援

電気・ガス料金の高騰の影響を受ける企業を支援

- ・高圧電力、特別高圧電力または工業用のガスを契約している中小企業者に対し、県独自の緊急支援を実施

☎創業・経営課 TEL:0776(20)0367

支給対象者	県内に本社を有し、下記の要件をすべて満たす中小企業者	
対象要件	①高圧電力、特別高圧電力の契約をしている、または工業用のガスの契約をしていること	
	②前決算期における費用に占める電気・ガス料金の割合が5%以上であること	
	③令和5年4月から6月までのいずれか1か月の電気・ガス料金が前年同月に比べ増加していること	
支給額	増加額が10万円以上 増加額が5万円以上10万円未満 増加額が5万円未満	60万円/件 30万円/件 15万円/件

生活困窮者に対する継続的な支援

生活困窮者をサポート

- ・生活困窮者に対する相談体制を強化することにより、困窮状態の深刻化を防止し、継続的な支援を実施

☎地域福祉課 TEL:0776(20)0327

- （相談窓口の周知、相談者向けに支援物資の配布、相談員のスキルアップ研修、就労訓練場所の開拓）



チラシ配布（イメージ）



支援物資配布（イメージ）

長期ビジョンの着実な推進

ふくいを支える人材の育成

部活動の地域移行に向けて支援

- ・休日の中学校部活動の段階的な地域移行に向けた取組みを国に先行して実施（地域移行に向けたコーディネーター配置、実技指導者配置 など）

休日	平日	休日	平日
学校部活動		地域スポーツ・文化芸術活動	学校部活動

循環型社会の構築

再生可能エネルギーの導入拡大

- ・次期環境基本計画に定める温室効果ガス排出削減目標の達成に向け、県有施設への太陽光発電設備設置に向けた荷重条件や設置可能容量などの調査を実施

食のブランド化

ネクストステージへの躍進「いちほまれ」

- ・高価格帯での販売および販売量の拡大

- （産地ブランドの生産販売支援、高価格販売店舗との連携強化）

- ・さらなる認知度の向上

- （CMの放映、WEB広告の充実、デジタルサイネージの強化 など）



いちほまれ新CM発表会

県内産業の支援

デジタル技術を活用した農林水産物の販売促進

- ・農林水産物の販売や生産者・消費者の交流、デジタル技術の推進の拠点となる次世代型の施設整備を支援

- （実施主体：JA福井県経済連 福井市内に整備予定）



ライブコマースでの配信（イメージ）

山の担い手確保と地域の活性化

- ・全国初の自伐型林業学校の運営に対し支援（県内外の自伐型林業希望者が学校に必要な技術・知識を習得）
- ・「地域おこし協力隊」による自伐型林業の普及・PRを実施

結婚・子育て応援

withコロナ時代の結婚機運の醸成

- ・結婚式場等が行うイベント・広報を支援
- ・県民の結婚を祝福するキャンペーン等を実施し、結婚の機運を醸成

安心して出産・子育てできる環境の整備

- ・不妊治療費の自己負担額が6万円を超えないよう助成
- ・第2子以降の保育料無償化を実施（第2子は640万円未満世帯）

DXの推進

デジタル地域通貨の導入

- ・給付金受給等における手続きの簡素化・迅速化や域内経済・地域活動の活性化を促進するため、「デジタル地域通貨」を導入



防災力の向上

災害時の迅速な対応

- ・大規模災害時等に「福井県広域消防相互応援隊」の出動を知事が指示し、初動から十分な消防力を迅速に投入

ドローンを活用した空からの情報収集

- ・災害発生時に、目視外自動飛行機能を備えた災害用ドローンの活用により、被災状況を早期に把握し、県民へ迅速に情報を提供



災害用ドローンの配備

飛行ルート事前登録

ドローンによる目視外自動飛行での確認

問合せ先

財政課 ☎0776(20)0234

詳しくは [福井県 令和5年度当初予算](#) 検索

令和5年度当初予算の概要については、テレビでも放送します。
3/26(日) 7:00~7:30 FBCテレビ 朝だよ!ハピネスふくい